

本日は、愛媛県新居浜市にあります鈴木産業株式会社、移動診断車（あんしん号）での一般診断で訪問し、ご多忙の中、会長の鈴木克年様にお話をお伺いしました。

鈴木産業株式会社は新居浜市で創業し、一般貨物運送、重量物運搬や据付工事、とび・土工工事、機械器具設置工事等を手掛け、クレーン作業においては、5トンのミニラフターから300トンオルター、オールテレーンまでの各種機種を揃え、木造建て方から大型プラント建設までの現地まで荷物を運搬し吊る建設工事等、産業全般のニーズに対応すべく地元新居浜を拠点に安全第一で取り組んでいます。



鈴木会長

共済：本日は、よろしくお願ひします。

会長：こちらこそよろしくお願ひします。

共済：早速ですが、貴社の安全対策をお聞かせください。

会長：今、我々の業界、トラック協会・クレーン協会にしても事故に関しては非常に厳しくなっています。ひとつ事故を起こしてしまうと会社の存続にまで影響する場合がありますので、日々、安全にやっていたきたいという気持ちで教育することが大事だと考えています。



共済：具体的にはどのようなことですか？

会長：毎朝、7時40分に朝礼を行い、全員に今日一日の注意点を周知しています。

また、その朝礼で周知した内容は、全て朝礼記録として作成保管し、早出などで朝礼の場に居なかったドライバーも必ず確認しサインをしています。

共済：毎日の注意点とは、どのような内容ですか？

会長：「今日は天気が悪いから更に速度を落として車間を開けなさい」というような日々の天気状況等の注意点を周知し、また、各現場での作業前の内容を良く把握して作業に取り組む様に注意等しています。

人は、分かっているつもりでも忘れてしまったり、出来なかつたりするものですから、少しでも油断すると気持ちゆるみ、大きな事故に繋がってしまいます。99日事故が無くても100日目に事故を起こしてしまうと意味がないですから、あたりまえの事であっても、毎日の再確認が事故防止には重要だと考えています。

共済：なるほど。安全は日々の努力の結果なのですね。

先ほど、トラックやクレーン車などを拝見させていただきましたが、全てきれいな状態でしたので感



心しました。日々の管理はどのようにしているのですか？

会長：弊社では、機械に対してしっかりと手入れや整備が出来ない方は、現場でも確実な仕事が出来ないと考えています。

私が若い頃、あるとびの方の行いに感心したことがありました。クレーン車を扱う現場では、とびの方もワイヤーを使って作業をしていますが、ほとんどの人が昼食をとる短い時間であれば使用したワイヤーは昼から使うからとそのままにしています。一方そのとびの方は、昼食後すぐに使うにもかかわらず職人を集め、癖がついて角が立ったワイヤーを伸ばし、丸め直していたのです。

それだけ几帳面ですから、ワイヤーを踏んでしまっただけでも「道具を踏むな！」と機嫌が悪くなっていましたが、その代わり仕事はすごく丁寧で正確でした。

共済：道具を大事にする心構えが、そのまま仕事に現れているんですね。

会長：その通りですね。レッカーは、現場で作業していると少なからずどこかをぶついたり、塗装が剥がれたりしてしまいます。誰もが、へこんだまま、塗装が剥げたまま使っていると「どうせ、へこんでいるから」という気持ちがでてしまい、いい加減な扱いになってしまうものです。



しかし、いつもきれいな状態を保つことで、ぶつけてはいけないという気持ちから、扱いが丁寧になり、慎重な行動から事故防止にも繋がると思うのです。ですから、たとえ小さな傷をつけてしまった場合でも必ず報告していただき、その都度修理してきれいな状態を保っています。

共済：今も外で洗車している方がいますが、貴社の考えに基づいて社員の方が自発的に行っているのですか？

会長：そうですね。弊社の今があるのも、社員全員が自信と誇りを持って仕事に取り組んでくれてのおかげですよ。それと機械を扱うことが好きなのでしょうね。(笑)

共済：日々の朝礼における安全の再確認、道具を大事にする心構え、とても参考になるお話でした。

本日は、ご多忙の中ありがとうございました。

会長：こちらこそ、ありがとうございました。



※四交協では、安全運転のための一般診断を、組合員事業所内で行えるよう、運転適性検査器、視力計を搭載した移動診断車（あんしん号）を準備しています。

組合員は無料で利用できますので、お気軽に申し付けください。(要予約)

